

製品名: α -ラクトアルブミン (10B3) マウスモノクローナル抗体**カタログ番号: AMM00867**

研究使用のみ

概要

説明	マウスモノクローナル抗体
宿主	ねずみ
応用	WB,IHC,ICC/IF
反応性	人間
標識	非共役
修飾	未修正
アイソタイプ	IgG1
クローン性	モノクローナル
形態	液体
濃度	1mg/ml
保存	アリコートし、 -20°C で保存してください (12 ヶ月有効)。凍結/融解サイクルを避けてください。
輸送	氷袋
バッファー	50% グリセロール、0.5% 保護タンパク質、0.02% アジ化ナトリウムを含む PBS 液 (pH 7.3)。
精製	アフィニティー精製

応用

希釈倍率	WB 1:500-1:1000,IHC 1:50-1:100,ICC/IF 1:50-1:200
分子量	Calculated MW: 16 kDa; Observed MW: 16 kDa

抗原情報

遺伝子名	LALBA
別名	Lactose synthase B protein; Alpha-lactalbumin; Lactalbumin alpha; MGC138521
遺伝子 ID	3906
SwissProt ID	P00709
免疫原	α -ラクトアルブミンの合成ペプチド

背景

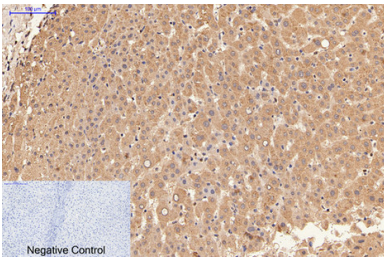
乳腺におけるラクトース合成酵素の調節サブユニットは、ガラクトシルトランスフェラーゼの基質特異性を変化させ、グルコースをこの酵素の良好な受容体基質とする。これにより、乳腺ラクトース合成酵素は乳の主要炭水化物成分であるラクトースを合成するこ

とができる。他の組織では、ガラクトシルトランスフェラーゼは糖タンパク質中のオリゴ糖鎖の N-アセチルグルコサミンにガラクトースを転移する。

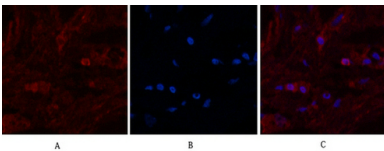
研究分野

タグとセルマーカー

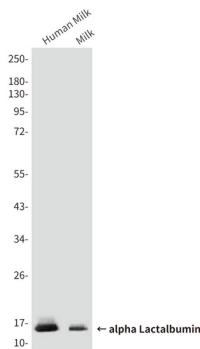
画像データ



アルファラクトアルブミン (10B3) 抗体を使用したパラフィン包埋ヒト肝臓組織の免疫組織化学分析。抗原賦活化には高圧高温クエン酸ナトリウム pH 6.0 を使用しました。ネガティブコントロールは二次抗体のみを使用しました。



アルファラクトアルブミン抗体 (赤) と DAPI (青) を使用した、ヒト乳房組織中のアルファラクトアルブミン (10B3) の免疫蛍光分析。



α -ラクトアルブミン (10B3) 抗体を用いたヒト乳汁中の α -ラクトアルブミン (10B3) のウェスタンブロット分析